



# 週報

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号  
大阪駅前第3ビル 30階(〒530-0001)  
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556  
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>  
メール [osaka-w@cronos.ocn.ne.jp](mailto:osaka-w@cronos.ocn.ne.jp)  
例会日 毎週月曜日 12時30分  
例会場 ヒルトン大阪  
会場電話 06-6347-7111

第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

会長 高 士 雅 次  
幹事 相 崎 秀 樹  
会報委員長 桑 森 章

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。  
I 真実かどうか。II みんなに公平か。III 好意と友情を深めるか。IV みんなのためになるかどうか。

## ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

Engage Rotary Change Lives

ロン・D・バートン

No 2216

2014年3月31日

第2679回例会

### 本日のお知らせ

- ◆ R.S. 「手に手つないで」
- ◆ 卓話 「ASEAN・インド視察」  
安積 覚 君

- ◆ 第5組インターシティ・ミーティング開催  
「一人一人がロータリーを実践し感動しよう!!」  
～クラブ活性化のための戦略計画、  
あなたのクラブは?～

日時: 2014年4月5日(土) 14:00~18:00

会場: ホテルグランヴィア大阪

(本会議) 20F 「名庭の間」

(懇親会) 20F 「孔雀の間」

本年度のIMは、「一人一人がロータリーを実践し感動しよう!!」～クラブ活性化のための戦略計画、あなたのクラブは?～をテーマにく活力あるクラブ作りと戦略計画>やくディスカッション>を通じて他のクラブの活動を知り今後の各クラブの活性化について考える機会になればと企画されています。

お忙しい時期ではございますが、多数のご参加をお願い申し上げます。

### 次例会のお知らせ

- ◆ R.S. 「奉仕の理想」
- ◆ 卓話 「経営者保証ガイドライン」  
林 邦彦 君

### 前例会の報告

- ◆ 前例会 (3月24日) の来客者 7名  
うち国内来客者 6名  
国内ゲスト 1名

- ◆ 前例会 (3月24日) の出席状況  
出席会員数 (内18名免除会員) 56名  
欠席会員 12名  
出席規定適用免除会員 27名  
会員総数 77名  
出席率 82.35%

- ◆ 3月3日の例会の出席率 (MUを含む) 91.04%

- ◆ ニコニコ箱 (3月24日分)

○ 誕生日自祝。

吉本 幸司 君

- 先週、職場訪問実施の際は、官部会員にはお世話頂きありがとうございました。また、ご参加頂きました会員の皆様、ありがとうございました。  
只井 恒満 君
- 高雄訪問キャンセルのお詫び。高士 雅次 君
- 気仙沼RCの方々、ようこそお越し下さいました。今後ともよろしく願いいたします。  
木越 正司 君
- ニコニコ協力。官部 昶太郎 君  
丹生 昭教 君
- 本日卓話です。よろしく願いいたします。  
栗村 卓家 君
- ご支援に感謝いたします。  
気仙沼ロータリークラブ

ニコニコ箱 (3月24日分)

クラブ・ニュース

◆ 持ち回り理事会議事録

下記議案を持ち回り理事会にて審議致しました。

1. 新入会員の件

新入会員候補者1名の推薦書を受理、入会手続きを進める事で承認。

◆ 第3回クラブアセンブリー報告

日時：平成26年3月17日(月)13:40~14:30

議題：クラブ運営と活動について

出席：27名

	2013-14年度	2014-15年度
会長	高士 雅次	嶋谷 清三
会長エレクト	嶋谷 清三	木越 正司
副会長	木越 正司	清水 美博
直前会長	大塚 道夫	高士 雅次
幹事	相崎 秀樹	
副幹事		林 邦彦
S. A. A.	林 邦彦	吉本 幸司
出席・プログラム委員長	米田 猛	
会報委員長		安部 吉宏
広報・雑誌・記録委員長	安部 吉宏	丹生 昭教
親睦委員長	山内 康俊	仙木 伸介
増強委員長	出田 善蔵	岡 豪敏
選考・職業分類委員長		井本 一幸
規定情報・研修委員長	中安 敬人	松岡 庄司

職業奉仕委員長	只井 恒満	市川 雅邦
社会奉仕委員長	上野 義治	
国際奉仕委員長		市田 晃
ロータリー財団委員長	丹生 昭教	北村 寅雄
米山奨学委員長	中村 壽孝	高橋 洋祐
新世代奉仕委員長	上田 茂久	栗村 卓家

◆ フィリピンでのマングローブ植樹



3月7日から9日まで、FVP(未来の夢計画)をすすめるため、高士会長、木越会員、林会員と私の四名でフィリピンに行ってきました。

7日はケソン市にあるコスモポリタン・クバオRCの例会に出席し、友好クラブの締結と親交を深めました。

また翌日、8日には車で約3時間かけてバターン州のバラング沿岸部まで移動しマングローブの植樹を行いました。潮の引いた午前中に、地元のボランティアあわせて約50人と1000本のマングローブの苗を植えました。

マングローブは成長すると10mほどの高さになり高波や津波から人を守る緑の防波堤となります。またマングローブ林は潮の影響を受ける浅瀬にあり、有機物が溜まりやすいのでプランクトン、カニ、エビ、貝類などが住みやすく、それらを餌とする魚や鳥、哺乳類も数多く集まります。このため、海の生き物を育む「命のゆりかご」とも呼ばれています。ただ最近では沿岸部開発によって急速に減少を続けており、マングローブ林の回復はどの地域においても重要な課題となっています。

当日は市長も参加され、地元の方と共に非常に感謝していただきました。



今後このプロジェクトで地区補助金を申請してさらに役立てたいと考えています。これからもご協力よろしく願いいたします。

(国際奉仕委員会 井上佳昭)

## ◆ 社会奉仕委員会からのご報告

3月10日、寒い中、高士会長・鴨谷会長 エレクト・木越副会長・相崎幹事・松尾前委員長の立ち合いで「ベンチ」5基



の完成施工を確認し、大阪市への寄贈引渡しを終えましたので、ここに経過の概要をご報告いたします。

昨年7月、前委員長に同行して、大阪市建設局公園緑化部を訪問した時にはじまるこの事業は、4月7日の例会で、大阪市長（市長代理・協働課長馬渡肇氏）から感謝状の授与をもって終結することになります。

昨年11月の理事会は、地域環境緑化事業の参加として、ベンチ5基の寄贈を承認いたしました。当委員会の基本姿勢は、継続性の重視で、「見える化」を図ることが前委員長との合意事項でした。社会奉仕の活動に福祉の視点をもつことによって、「人の出会い」と「憩いの場」をつくる、それが「ベンチ」の選択でした。

設置する場所は、大阪西RC創設時の地区が「港・大正区」であったことを長く記憶に留め、地域社会に貢献するため、大阪市立中央体育館のある「八幡屋公園」を選定しました。八幡屋公園には①時計台(45周年記念)と②桜植樹(55周年記念)の寄贈物があります。今回ベンチが加わり、「大阪西ロータリークラブ」の銘板は、ますます輝きを放っています。

次年度は八幡屋公園において、①クリーンハイクを実施し、引き続き②老朽化した遊具の寄贈を検討して頂き、地域住民を支援する「つながり」の社会奉仕を実現していきたいものです。後日のため行政手続のフロー等は整理して残したいと思います。

会員皆様の浄財ニコニコ箱を有効に活用させて



頂きました。あらためて会員各位のご厚情に深く感謝いたします。ありがとうございました。

社会奉仕委員長  
上野 義治

## ◆ 社会奉仕委員会からのお願い

昨年8月26日に、山上会員のお世話による例会卓話者としてスペシャルオリンピックス日本の細川佳代子名誉会長をお招きしたことをご記憶でしょうか。

このたび NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・大阪から賛助会員の勧誘がありました。理事会は団体として入会はしないとの決定をしておりますので、これを受けて当委員会から会員各位に対し、個人入会をお願いすることにいたしました。申込書は事務局にありますので、どうぞよろしくご協力のほどお願いいたします。

社会奉仕委員長 上野 義治

## ◆ 事業報告 「職場訪問」

今回の職場訪問は3月17日（月）例会終了後、宮部会員のお世話により伊丹空港にあるANAベースメンテナンステクニクス株式会社を訪問し、機体整備工場を見学いたしました。

到着後、全日本空輸株式会社大阪支店長の白水政治様（大阪 RC）より、歓迎のご挨拶を頂き、安全をどのようなやり方で実践しているかというところを見学して頂きたいとの説明を受けました。

参加者はANAの保有機の特徴や操縦のしくみ、整備の役割などのプレゼンテーションを受けた後、2班に分かれてベテランの1等航空整備士である大平さんと中山さんにガイドをして頂きながら格納庫内の整備中の航空機を見学しました。

プロの整備士がひとつひとつの機材を黙々と丁寧に保守点検、修理している様子を見学し、航空機の機能の維持と向上、改良が整備の大切な役割であることを知ることができ、空の安全を支えている航空機の整備というものについて勉強することが出来ました。

また見学後、午後5時よりヒルトンプラザイースト地下2階の焼肉しゃぶしゃぶ「たちばな」にて懇親会をひらき、美味しいスキ焼きを堪能しながら大いに盛り上がり、会員同士が親睦を深める充実した1日となりました。

（職場訪問参加者 17名。  
懇親会参加者 15名。）

職業奉仕委員会  
只井 恒満



◆ 地区広報委員会からのお知らせ

ラジオ大阪「あなたのそばにロータリー」ご案内

第 2660 地区広報委員会では、ロータリーの公共イメージアップ及び認知度の向上のため、昨年に引き続き、ラジオ大阪にて「あなたのそばにロータリー」の番組を放送致しますので、ご案内致します。

今後ともロータリーの公共イメージアップ及び認知度の向上のため、第 2660 地区広報委員会の活動にご理解賜りますようお願い申し上げます。

RI2660 地区ガバナー 福家 宏  
地区広報委員会委員長 岡村 剛行  
記

平成 26 年 3 月 28 日(金)から 5 月 30 日(金)まで  
毎週金曜日 16 時 45 分頃から 10 回に亘って  
(但しラジオ大阪側の都合により延期等の変更  
がなされる可能性がありますことご承知おき  
下さい。)

出演予定は以下のとおりです。

- 第 1 回 3 月 28 日 福家 宏 ガバナー  
第 2 回 4 月 4 日 西宮富夫ガバナー補佐エレクト  
(IM1 組)  
第 3 回 4 月 11 日 簡 仁ガバナー補佐エレクト  
(IM2 組)  
第 4 回 4 月 18 日 亀井信昭ガバナー補佐(IM3 組)  
第 5 回 4 月 25 日 辻本一義ガバナー補佐(IM4 組)  
第 6 回 5 月 2 日 川崎 壽ガバナー補佐(IM5 組)  
第 7 回 5 月 9 日 山田英男ガバナー補佐(IM6 組)  
第 8 回 5 月 16 日 杉浦敬久ガバナー補佐(IM7 組)  
第 9 回 5 月 23 日 川上善司ガバナー補佐エレクト  
(IM8 組)  
第 10 回 5 月 30 日 泉 博朗ガバナーエレクト  
以上

◆ 識字率向上月間

○ユネスコ推計：世界で 15 才以上の 8 億人の  
人々が読み書き能力なし

○女性：世界の非識字人口の 64%以上を占める  
2012 年 10 月、パキスタン北部の町でまだ 15 才  
の若い女子中学生が頭部などに銃弾を受けて重  
傷を負うと言う、衝撃的なニュースが流れたこと  
をご記憶の方は少なくないと思います。彼女の名  
はマララ・ユスフザイです。彼女は 11 才の時から  
一部組織による女子校の破壊活動を批判、女性  
への教育の必要性や平和を訴える活動を続けて  
来たのですが、そのために彼女は命を狙われたの  
です。幸い一命を取り留めて今は英国で勉学に励  
んでいます、現在も国連の支援を得て女性差別

の撤廃や教育の機会均等を訴え続けています。マ  
ララさんは本当に幼い時から教育の重要性に気  
付いて活動を始めていたのです。大変不幸なこと  
ですが、中東の一部の国や地域では女性に教育を  
受けさせないという人権侵害が、今なお続いてい  
ます。

識字率の低さは真実を知る機会を奪い、人々を貧  
困や病という不幸で深刻な状況に追い込んでし  
まうのです。

つまり、識字は人間が人間らしく生きて行くため  
の基本的条件の一つです。そして基本条件の中  
でも最も重視すべき要件だと思います。

では私たちは何をすべきなのか、それを考えてみ  
る機会が「識字率向上月間」だとお考え下さい。  
当地区の大阪心斎橋 RC は今年度グローバル補  
助金を利用して、タイ・バンコク郊外の学校の教  
諭や生徒たちを対象とした、英語教育支援活動を  
計画され、ロータリー財団の承認を受けておられ  
ます。このプロジェクトには、英語教諭へのトレ  
ーニングや、辞書の寄贈が含まれています。母国  
語ではなく外国語習得のための教育支援ではあ  
りませんが、素晴らしい取り組みだと思います。

これらは一例に過ぎませんが、私たちが非識字の  
もたらす不幸に思いを寄せて、識字率向上のため  
のプロジェクトを模索することは、極めて意義深  
いことだと思います。

RI2660 地区ガバナー 福家 宏  
(ガバナー月信 3 月号より抜粋)

♪本日のロータリーソング♪

「手に手つないで」

手に手つないで つくる友の輪  
輪に輪つないで つくる友垣  
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ  
一つ心に おゝロータリアン  
おゝロータリアン

「春がきた」

春が来た 春が来た どこに来た  
山に来た 里に来た 野にも来た  
  
花が咲く 花が咲く どこに咲く  
山に咲く 里に咲く 野にも咲く  
  
鳥が鳴く 鳥が鳴く どこで鳴く  
山で鳴く 里で鳴く 野でも鳴く